

呉市教育振興基本計画（案）について

呉市教育振興基本計画（案）について、市民意見募集等により皆様から頂いた意見に対し、市の考え方を示すとともに、必要な箇所の修正を行いましたので報告します。

1 パブリックコメント（市民意見募集）による意見

呉市教育振興基本計画を策定するに当たり、令和3年12月20日(月)から令和4年1月18日(火)まで（30日間）意見募集を行い、2名の方から5件の意見を頂きました。頂いた意見に対する市の考え方は次のとおりです。

提出された意見の要旨	市の考え方
<p>第4章 施策の展開 基本施策1 義務教育の充実 施策2 小中一貫教育を基盤とした「つながり」を重視する教育の推進</p>	
<p>(1) 中学校では漢検・英検の受験が推奨されているようだが、小中一貫教育の取組として、その中学校の学区の小学生も漢検・英検を同時に受験できるようにしてはどうか。検定を受けようと勉強をしている小学生も多いので、モチベーションにつながると思う。</p>	<p>頂いた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
<p>第4章 施策の展開 基本施策1 義務教育の充実 施策3 特別支援教育の推進</p>	
<p>(2) 呉市にも、インクルーシブ教育システム[※]を導入してほしい。これを実現するには、教職員、地域住民、保護者など、全ての大人の学びが必要となる。呉には、全ての子どもが大事にされる学校がある、そういう場所になってほしい。</p> <p>※インクルーシブ教育システム：障害のある子どもが能力等を可能な限り発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的の下、障害のある子どもと障害のない子どもが共に学ぶ仕組み</p>	<p>文部科学省は、インクルーシブ教育システムについて、児童・生徒の個別の教育的ニーズに対して最も的確に答える指導を提供できる多様な柔軟な仕組みを整備することが重要であり、また連続性のある多様な学びの場を用意しておくことが必要であるとの考えを示しています。</p> <p>こうした考えを踏まえ、呉市では、特別支援学級や通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒の個別の教育的ニーズに答えるため、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成して、適切な指導や支援を行えるよう校内体制の充実に取り組んでいます。また、特別支援学級指導員や学校教育指導補助員を配置し、児童・生徒の指導の援助を行えるようにしています（14ページ）。</p> <p>さらに、障害のある子どもと障害のない子どもが同じ場で共に学ぶための環境整備として、全ての子どもが落ち着いて学ぶことができるように「呉市のスタンダード（教室の前面に掲示をしない、ロッカーの整理整頓、机と椅子の位置の固定）」の徹底を進めています。</p> <p>こうした取組を通して、全ての子どもが大事にされる学校づくりを進めたいと考えています。</p>

第4章 施策の展開 基本施策1 義務教育の充実 施策6 豊かな心と体を育てる体験活動の充実	
(3) 中学校では、生徒数の減少に伴い、部活動において選べるクラブが減少し、やりたい部活動ができず、放課後に思い切りスポーツができない生徒が多いようだ。この状況を改善するため、部活動指導員の配置において、スポーツの種目を限定しない総合的な体づくり指導員を配置してみてはどうか。指導員の配置は、教員の働き方改革の推進にもつながると思う。	部活動指導員については、部活動を担当する教員の負担軽減と技術的な指導等の支援のため、令和3年度から試験的に配置しています（17ページ）。さらに、外部から指導者を招へいし、指導していただくことも行っています。今後は、部活動指導員を配置したことによる効果について検証した上で、増員等を検討していきます。 また、各学校の実情に応じて、部活動の充実を図りながら運動の機会の確保に努めていきます。
第4章 施策の展開 基本施策3 安全・安心な教育環境の充実 施策11 安全・安心で快適な環境整備	
(4) 呉市内の制服をジェンダーレス化することを希望する。数名の女の子が中学校入学時にスカート履きたくないという声をあげていた。中一ギャップの一つではないか。早急に実現させてほしい。	性的少数者の児童・生徒へのきめ細かな対応は、安心して学校生活を送るために重要なことであると捉えています。 呉市立中学校25校における女子生徒のスラックス導入状況は、導入済み14校、来年度導入予定3校、検討中4校、未定4校です。 今後も、生徒や保護者の意見を参考にしながら取り組んでいきます。
(5) 冬は夕方17時頃になると真っ暗になるので、登下校時の安全確保のため、通学路への街灯設置を見直してほしい。	通学路の安全確保のため、平成26年10月「呉市通学路交通安全プログラム」を策定し、通学路の危険箇所を把握するとともに、道路管理者や警察などの関係機関と連携しながら、通学路の危険箇所の改善を継続して行っています（24ページ）。 通学路への街灯の設置については、道路管理者などの関係機関と連携していきます。

2 文教企業委員会からの意見

令和3年11月24日（水）開会の文教企業委員会で頂いた意見を踏まえ、次のように修正を行いました。

意見の要旨	市の考え方等
第4章 施策の展開 基本施策3 安全・安心な教育環境の充実	指標
防災教育に関する指標中「自分が住む地域に起こりやすい災害について理解している児童・生徒の割合」の項目では、小・中学校ともに目標を90%としているが、100%を目指すべきではないか。	児童・生徒が「自分の命は自分で守る」ことができるためには、自分が住む地域に起こりやすい災害についてよく理解しておくことが必要であると考え、次のとおり目標を修正しました。 (23ページ) ◎次のように修正 自分が住む地域に起こりやすい災害について理解している児童・生徒の割合 ≪「呉市学校防災週間」取組内容調査≫の項目 目標 (修正前) R8：小 <u>90.0%</u> 中 <u>90.0%</u> (修正後) R8：小 <u>100.0%</u> 中 <u>100.0%</u>

3 その他の主な変更点

庁内の意見等を踏まえ、次のように修正を行いました。

修正前	修正後
第4章 施策の展開 基本施策1 義務教育の充実 施策1 幼児教育の充実	
	<p>(12ページ)</p> <p>◎【主な取組】に、次の下線部分を追加 ◆ 体験を重視した教育の推進 <u>遊びや生活の中で、諸感覚を働かせながら試行錯誤し、充実感や満足感を味わうことができるよう、一人ひとりの子どもの実態に合わせた意図的・計画的な環境構成を工夫します。</u></p>
第4章 施策の展開 基本施策1 義務教育の充実 施策5 英語教育の推進	
<p>(16ページ)</p> <p>グローバル社会を主体的に生き抜くために必要な英語を用いたコミュニケーション能力を育成するために、英語教育の充実を図ります。</p>	<p>(16ページ)</p> <p>◎次のように修正 グローバル社会を主体的に生き抜くために必要な英語を用いたコミュニケーション能力を育成するとともに、<u>異文化理解を深め、言語の違い等の多様性を受け入れ、国際的な視野を広げることができるよう、英語教育の充実を図ります。</u></p>
第4章 施策の展開 基本施策3 安全・安心な教育環境の充実	指標
<p>(23ページ)</p> <p>小・中学校トイレの洋式化率 《公立学校施設のトイレ状況調査》の項目</p> <p>目標 R8 <u>60.0%</u></p>	<p>(23ページ)</p> <p>◎次のように修正 小・中学校トイレの洋式化率 《公立学校施設のトイレ状況調査》の項目</p> <p>目標 R8 <u>66.0%</u></p>